

2017年3月16日
NGO・JICA協議会 コーディネーター

SDGsに係る NGO・JICAの取り組みについて

1. 背景・経緯

2015年度9月に国連で採択されたSDGsでは、ゴール17「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」等で民間企業、NGO、自治体、研究機関等のマルチステークホルダー・パートナーと連携強化を図った上での取組の重要性が掲げられている。その点を踏まえ、今年度のNGO・JICA協議会では、年間テーマの1つとして、NGOとJICAの今後の協働に向けての可能性を探るべく情報交換が行われた。

なお、年度目標として目指す成果を「SDGsを踏まえたNGO-JICA双方の取り組みが共有されている。」と設定した。

2. NGO・JICA協議会での協議事項

○第一回（6月24日）：

JICA企画部：SDGsに対して取り組む方向性や機構内勉強会等について紹介

JANIC：SDGs市民社会ネットワークの紹介

○第二回（9月5日）：

JICA北陸：草の根技術協力事例やシンポジウム「石川・金沢の豊かな地域社会を担う人材育成のあり方とは～持続可能な開発目標（SDGs）と地域をつなぐ観点から～」の結果の紹介

RCE北海道道央圏協議会：RCE Hokkaido Central（道央圏）におけるSDGsの活用

○第三回（12月15日）：

JICA企画部：SDGsに向けた取り組み方針（ポジション・ペーパー等の紹介）

JANIC：NGOによる「基本尺度」及び「共通言語」としてのSDGs活用に向けたJANICの取り組み

3. 成果の達成状況について

NGO・JICA協議会にてNGO-JICA双方の取り組み方針や事例等が共有されたことに加え、以下の具体的な連携が行われたことを踏まえ当初目的とした成果「SDGsを踏まえたNGO-JICA双方の取り組みが共有されている。」は達成がなされた。

今年度の具体的な連携内容

- 2016年9月7日 JICA地球ひろば主催「SDGsを考えるサロン」
＞講師としてセーブ・ザ・チルドレン及びJICA国際協力専門員が参加。
- 2016年11月16日 SDGs市民社会ネットワーク主催「実施指針策定へ向けて～開発資金と援助効果を考える」
＞スピーカーとしてセーブ・ザ・チルドレン及びJICA理事が登壇。
- 2016年3月7日 JANIC主催『国際協力NGO経営層のためのSDGsガイドブック』完成披露シンポジウム』
＞NGOから事例紹介を、JICAから取り組み方針を紹介。

4. 今後の方針

NGO及びJICAはSDGs達成を重要な課題であり共通言語として認識の上、双方情報共有を行う。また、SDGsの普及・啓発だけでなく草の根技術協力事業においてSDGsを意識した取組例は別添のとおりであり、今後もSDGsを踏まえた案件の実施を行うよう努める。

以 上